水痘（みずぼうそう）予防接種の説明

|  |  |
| --- | --- |
| 接種対象年齢 | 生後１２月から３６月に至るまで（誕生日の前日まで） |
| 望ましい接種年齢 | 生後 12 月から生後 15 月に至るまでに初回接種１回  追加接種は初回接種終了後 6 月から 12 月に至るまでの間隔をおいて 1 回 |
| ワクチンの種類 | 弱毒生ワクチン |
| 予防する病気 | ＜水痘（みずぼうそう）＞  水痘・帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる、発疹を伴う急性の伝染性疾患です。毎年約 100 万人の患者が発生していると推定されます。そのほとんどが  9 歳以下であり、空気感染し、強い伝染力を持ち、家族内での接触では９０％が発症してしまうと報告されています。  症状としては、2 週間程度の潜伏期間を経て、掻痒を伴う発疹を生じ、発疹は全身に広がり、紅斑、丘疹を経て水疱となり、最終的に痂皮化します。一般的には軽症であるが、重症化し入院や死亡に至る例もあります。  **予防接種の効果**  1回の接種により重症の水痘は、ほぼ100％予防できると報告されています。しかし、1回だけの接種では、軽い症状で済むことがほとんどですが、数年内に約20％の人が発症する場合があります。ワクチンの効果を確実にするためにも、2回の接種をおすすめします。 |
| 接種回数 | （標準的な接種）  ２回 生後 12 月から１５月に至るまで 初回接種終了後６月から１２月に至るまで  初回：1 回 追加：1 回  3 か月以上あける |
| 実施時期 | 年間通して実施 |
| 実施場所 | 個別予防接種実施医療機関 |
| 注意事項 | * 既に水痘に罹患したことがある者は接種対象外とする。 * 任意接種として既に水痘ワクチンの接種を受けたことがある者は、既に接種し   た回数分の接種を受けたものとみなす。（経過措置対象者も含む） |
| 副反応 | 水痘ワクチンは弱毒生ワクチンですから、ウイルスが体内で増えます。健康な子ども、成人には接種後１～３週間頃、ときに発熱、発疹が現れることがありますが、一過性で通常数日中に消失します。悪性腫瘍や白血病、ネフローゼの患者  では接種後１４～３０日に発熱を伴った丘疹、水疱性発疹がでることがあります。 |
| 備考 | 各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。  必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。 |